



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年1月31日

上場会社名 アイエックス・ナレッジ株式会社
 コード番号 9753 URL <https://www.ikic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 安藤 文男
 (氏名) 中谷 彰宏
 TEL 03-6400-7000

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	12,935	1.7	560	23.9	597	22.8	383	27.1
2019年3月期第3四半期	13,164	7.4	736	60.8	773	54.8	526	56.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	38.48	
2019年3月期第3四半期	52.40	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,445	4,912	52.0
2019年3月期	9,744	4,651	47.7

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 4,912百万円 2019年3月期 4,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.00	20.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当10円00銭(誕生20周年記念配当)

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,014	1.4	840	2.0	879	0.0	591	0.9	59.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	11,200,000 株	2019年3月期	11,200,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	1,239,189 株	2019年3月期	1,238,552 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	9,961,140 株	2019年3月期3Q	10,038,217 株
------------	-------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の属する情報サービス産業市場は、企業の人手不足や働き方改革への取り組みを背景とした生産性向上のためのIT投資や、デジタル化による競争力強化を目的とした戦略的IT投資が堅調に推移していくことが見込まれています。一方で、それらIT需要に対応するための技術者の確保が重要な課題となっております。

このような市場環境のもと、当社は「中核事業の拡大」「事業基盤の強化」「次期成長事業の創出」を中期経営方針として、3ヶ年の中期経営計画を策定し、営業体制強化、開発体制整備、案件対応力強化、DXやブロックチェーン技術等のデジタル化対応に取り組んできております。

また、注力事業である第三者検証サービスの拡販、自動車産業における車載組込みシステム開発分野の拡大、新規事業創出を目指したブロックチェーン技術に関する顧客との共同研究などを引き続き推進しております。

当第3四半期累計期間での動向を品目別に見ますと、コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービスでは、金融機関向けシステム検証案件や車載組込みシステム開発案件が堅調に推移し、化粧品会社向けのシステム開発案件などの受注が拡大しました。一方で、大手通信事業者向けのシステム検証案件、大手金融機関や重工業メーカーのシステム開発案件などの収束をカバーするには至りませんでした。さらに開発から運用フェーズに移行した案件もあり、前年同期と比べて売上高は減少いたしました。また、システムマネジメントサービスにおいては、運用設計や基盤構築案件の受注が拡大するなど売上高は増加いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、12,935百万円（前年同期比1.7%減）となりました。また、事業の選択と集中や業務改善を進めるなど事業基盤の強化に取り組んでまいりましたが、当社誕生20周年対応に伴う営業活動や次期成長事業創出に向けた技術者教育や調査研究の為の費用が増加したことに加え、当第3四半期会計期間は前年同期間と比べ売上高が減少したことにより、当第3四半期累計期間の利益面は、営業利益560百万円（前年同期比23.9%減）、経常利益597百万円（同22.8%減）、四半期純利益383百万円（同27.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は9,445百万円となり、前事業年度末に比べ298百万円減少しました。これは主に「有価証券」の減少200百万円、「投資有価証券」の増加97百万円、「現金及び預金」の減少91百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は4,532百万円となり、前事業年度末に比べ560百万円減少しました。これは主に「賞与引当金」の減少538百万円、「未払法人税等」の減少152百万円、「その他」に含まれる「未払費用」の増加119百万円、同じく「その他」に含まれる「預り金」の増加100百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は4,912百万円となり、前事業年度末に比べ261百万円増加しました。これは主に「利益剰余金」の増加184百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の47.7%から52.0%となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績及び現状の事業状況、事業環境を勘定しました結果、概ね2019年4月26日に公表しました業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,655,130	3,563,955
受取手形及び売掛金	2,607,477	2,530,419
有価証券	200,000	-
商品及び製品	485	10,750
仕掛品	314,616	279,469
その他	201,885	218,394
流動資産合計	6,979,595	6,602,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	87,046	91,829
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	22,636	17,842
土地	116,992	116,992
有形固定資産合計	226,675	226,663
無形固定資産		
ソフトウェア	18,896	33,355
その他	8,689	8,689
無形固定資産合計	27,586	42,045
投資その他の資産		
投資有価証券	1,256,231	1,354,213
繰延税金資産	958,936	924,360
その他	295,291	295,312
投資その他の資産合計	2,510,459	2,573,886
固定資産合計	2,764,722	2,842,595
資産合計	9,744,317	9,445,584

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	610,667	551,331
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払金	384,165	378,062
未払法人税等	214,567	61,726
賞与引当金	990,698	451,841
受注損失引当金	28,074	1,306
その他	331,632	546,770
流動負債合計	2,599,806	2,031,038
固定負債		
長期借入金	110,000	80,000
退職給付引当金	2,283,696	2,322,085
資産除去債務	63,596	63,276
長期末払金	36,200	36,200
固定負債合計	2,493,492	2,501,562
負債合計	5,093,299	4,532,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,291,045	1,291,045
利益剰余金	2,452,501	2,636,614
自己株式	△479,567	△480,060
株主資本合計	4,444,877	4,628,497
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	206,141	284,486
評価・換算差額等合計	206,141	284,486
純資産合計	4,651,018	4,912,983
負債純資産合計	9,744,317	9,445,584

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	13,164,660	12,935,897
売上原価	10,772,304	10,525,103
売上総利益	2,392,356	2,410,794
販売費及び一般管理費	1,656,121	1,850,207
営業利益	736,234	560,586
営業外収益		
受取利息	423	2,887
受取配当金	31,368	28,595
投資事業組合運用益	1,335	1,028
その他	6,660	5,721
営業外収益合計	39,787	38,232
営業外費用		
支払利息	1,284	527
支払手数料	1,115	-
為替差損	-	655
雑損失	79	129
営業外費用合計	2,478	1,312
経常利益	773,543	597,507
特別利益		
固定資産売却益	30	2
会員権売却益	460	50
特別利益合計	491	52
特別損失		
固定資産廃棄損	0	127
投資有価証券評価損	-	30,335
特別損失合計	0	30,463
税引前四半期純利益	774,034	567,096
法人税等	247,986	183,755
四半期純利益	526,048	383,341

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。